

R3 介護ロボット導入支援事業 導入効果一覧

番号	法人名	施設名称	利用定員数	導入機器種類	機器名称	導入台数	導入効果	介護ロボットの活用課題 介護ロボットを導入・活用してみて感じた課題について記載（介護ロボットの機能、使い勝手や導入・活用にあたって苦労した点など）
1	社会福祉法人ひなたぼっこ	グループホームひなたぼっこ	18	見守り	ネオスケア	2	職員1人あたりの業務の時間削減：30分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：10～20% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	シフト制ということもあり業者から直接説明を全職員がうけることができず、管理者や職責者が説明をうけ伝えたので使い方に慣れるまで時間がかかった。 ベッドの配置等を登録したが、利用者様が自分で居室内の物の位置を動かしてしまったため見守り機器がうまく使用できない状態になることがあった。
2	社会福祉法人阿智村社会福祉協議会	特別養護老人ホーム阿智荘	80	見守り	眠りスキャン	8	職員1人あたりの業務の時間削減：90分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：20～30% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	・心拍数と呼吸数が解かるので、看取り期の方のバイタル確認ができ安心できた。 ・夜間帯の睡眠状態が把握出来、眠りの状態が解かった。 ・誤作動があり、正しい起き上がりが解からないこともあった。
3	社会福祉法人御代田町社会福祉協議会	グループホームみよた	9	見守り	眠りスキャン	2	職員1人あたりの業務の時間削減：180分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：60～70% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	睡眠、心拍数を数値で見られることができ良いが、職員によっては設置、使い方が難しい場合がある。 センサーの利用によって排せつのサイクルを確認できると、介護の負担の軽減にもつながり、利用者の安眠にもつながるため、センサーのグラフとの因果関係を使用する際、検証する必要がある。
4	高田産業有限会社	グループホーム太陽	18	見守り	aams	4	職員1人あたりの業務の時間削減：1200分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：900分/月 ヒヤリハット・介護事故件数減：50～60% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	（介護ロボット導入の良い点） ・介護ロボットを導入し、事業所として見守りケアの負担をなくしていこうとする取り組みにケアスタッフは喜んでおり、前向きに利用していこうという雰囲気が出ている。 ・見守り時の安心感が増え、巡視の回数、優先度等に変化が出ている。 （今後の課題） ・頻繁に体動のある方への対応方法、利用方法は検討の余地がありそう。
5	社会福祉法人さらしなの里	特別養護老人ホーム治田の里	29	見守り	aams	3	職員1人あたりの業務の時間削減：168分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：0%（変化なし） 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	床置きタイプのセンサーマットでは、アラームが鳴って駆け付けても既にベッドサイドで尻餅をついている時があり、また、アラームが鳴る度に訪室しなければならず、介護職員の身体的・心理的負担が大きかった。 そこで、入居者の安全と介護職員の負担軽減、及びデータを活用した業務の効率化を図る目的で見守り介護ロボットを導入した。 このシステムは、生態状況（心拍・呼吸）や離床行動、睡眠状況をリアルタイムで確認でき、併せて、ベッドから背中が離れた時点（寝返り等）でアラームが鳴るため、事故発生を未然に防ぐ効果を期待していたが、期待以上の効果を感じている。 特に、アラームが鳴った時点で居室の状況がモニターで確認できるため、その都度訪室する必要が無く職員の身体的・心理的負担軽減の効果が大きく、職員も高評価をしている。 設置が簡単で移動し易く使い勝手は非常に良い。 導入するには通信環境も含めた、専用のシステムを整備しておくことが必要であるが、基本となるシステムを構築してしまえばセンサーを増やすことは簡単であり、入居者の安全と職員の負担軽減の為に、条件が整えば導入を進めて行きたいと考えている。 なお現在の課題としては、使用期間が6ヶ月程度と短い為、せっかく蓄積されているデータを十分活用しているとは言えない為、今後は積極的に介護計画等に反映させたいと考えている。
6	社会福祉法人有倫会	ウェルハートおかや短期入所者生活介護事業所	30	見守り	パラマウントベッド（エスパシアシリーズ）	6	職員1人あたりの業務の時間削減：100分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：0～10% 職員の心理的（精神的）負担の変化：変化なし	・中継ユニットが上手く作動しない。